

## 第4回岐阜県少子化対策専門家研究会開催結果

### 1 日時

令和4年12月22日（木） 10時00分～10時30分

### 2 場所

ZoomによるWeb会議

（事務局配信会場 県庁12階男女共同参画・女性の活躍推進課分室）

### 3 出席者

#### <委員>

岩澤 美帆 （国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 部長）  
菊本 舞 （岐阜協立大学 経済学部 准教授）  
中村 紘子 （株式会社OKB総研 調査部 主任研究員）  
（座長）松田 茂樹 （中京大学 現代社会学部 教授）

以上4名

### 4 議事

岐阜県少子化対策専門家研究会報告書（案）について

### 5 議事要旨

別紙のとおり

## 第 4 回岐阜県少子化対策専門家研究会・議事要旨

### 1 開会

- ・事務局からあいさつ

<事務局>

- ・前回研究会において、質問があったことについて回答

### 2 議事

岐阜県少子化対策専門家研究会報告書（案）について

<事務局>

- ・岐阜県少子化対策専門家研究会報告書（案）について説明

### ※質疑応答等

<松田委員>

- ・ 2 点指摘したい点がある。
- ・ 1 点目として、報告書案の結婚支援の箇所において、課題として挙げた文章の「生活圏や実家など岐阜県に住みたいと思う人」という表現は日本語が繋がっていないので、直した方がよい。
- ・ 2 点目として、両立支援の箇所において、施策の方向性として挙げた文章の「性別役割分担意識」は「固定的な性別役割分担意識」と書いた方がよい。
- ・ 理由としては、報告書案の別箇所に「固定的な性別役割分担意識」と既に書かれているためそれと合わせることで、厚労省と内閣府も同じ表現を使っているためである。
- ・ 「男性は仕事で家庭はやらない」、「女性は家庭で仕事はやらない」という考え方を無くしていくことが男女共同参画局の方針である。
- ・ 「固定的」という文言を取ってしまうと、各家庭に対して意見を出すことと捉えられかねない。政府や官公庁としては、個人の価値観に対して意見しているわけではなく、世間の考え方の中で一律的に考えてしまうのはよくないという方針で取り組んでいるため、「固定的」という表現がいいだろう。
- ・ また、「分担」を「分業」にするかという議論もあったが、厚労省と男女共同参画局の間において使い方は統一されていないため、岐阜県の過去の資料に合わせて直すのがよいだろう。

### 3 その他

- ・事務局から今後の研究会の流れについて説明

### 4 閉会